

菅首相の2050年脱炭素宣言 (2020.10)

2050年までの温室効果ガス排出の実質ゼロを宣言、グリーン社会の実現を成長の柱とすると述べる
PM Suga declared net zero emission by 2050 and to realize the green society will the center of economic growth

カーボンニュートラル目標各国比較

Comparison focusing mid-long term targets

各国比較	中期目標	長期目標
EU	2030年少なくとも▲55% (1990年比) ※欧州理事会 (12月10・11日) 合意 ※2013年比▲44%相当	2050年カーボンニュートラル ※複数の前提を置いた8つのシナリオを分析
英国	2030年までに少なくとも▲68% (1990年比) ※2013年比▲55.2%相当	2050年少なくとも▲100% (1990年比) ※一定の前提を置いた3つのシナリオを提示
米国	パリ協定離脱 → バイデン次期大統領は2050年までの GHG排出ネットゼロ を表明	
中国	2030年までに排出量を削減に転じさせる、GDPあたりCO ₂ 排出量を2005年比65%超削減 (前者は今年の国連総会、後者は気候野心サミット2020で習主席が表明)	2060年カーボンニュートラル (今年の国連総会で習主席が表明)

2050年カーボンニュートラルにコミットしている国

- 2050年までのカーボンニュートラル (CO₂排出をネットゼロに) にコミット: **123カ国・1地域**※
- これらの国における世界全体のCO₂排出量に占める割合は**23.2%** (2017年実績)
- 米国も2050ネットゼロを表明した場合には、世界全体のCO₂排出量に占める割合は**37.7%**となる。**(バイデン大統領候補の公約に国内排出を2050ネットゼロにする長期目標あり。また中国は2060年ネットゼロを表明。)**

※そのうち2ヶ国が既にネットゼロを達成、6ヶ国が法律制定済、EUと3ヶ国は法案提出済、11ヶ国が政府文書に記載

2050年カーボンニュートラルに賛同した国

123カ国・1地域

※全世界のCO₂排出量に占める割合は23.2% (2017年実績)



(出典) Climate Ambition Allianceへの参加状況及び国連への長期戦略提出状況等から経済産業省作成 (2020年12月12日時点)
<https://climateaction.unfccc.int/views/cooperative-initiative-details.html?id=94>